# インバータ SIO ドライバ

1	システム構成	3
2	接続機器の選択	7
3	通信設定例	8
4	設定項目	44
5	結線図	
6	使用可能デバイス	60
7	デバイスコードとアドレスコード	61
8	エラーメッセージ	62

はじめに

本書は表示器と接続機器(対象インバータ)を接続する方法について説明します。 本書では接続方法を以下の順に説明します。



# 1 システム構成

(株)安川電機製接続機器と表示器を接続する場合	合のシステム構成を示します。
-------------------------	----------------

シリーズ	インバータ 1	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
Varispeed F7	CIMR- F7A□□□□	インバータトの端子台	RS422/485 (4線式)	設定例 1 (8ページ)	結線図 1 (48ページ)
Valiopood I I			RS422/485 ( 2 線式 )	設定例 2 (10ページ)	結線図 2 (53 ページ)
Varispeed G7	CIMR-	ᄼᆞᆙᅟᅀᄂᅀᄴᄀᄭ	RS422/485 (4線式)	設定例 3 (12ページ)	結線図 1 (48 ページ)
	G7A□□□□		RS422/485 (2線式)	設定例 4 (14 ページ)	結線図 2 (53ページ)
VS mini .17	CIMR-	SI-485/J7 RS-422/485 インターフェイフカー	RS422/485 (4線式)	設定例 5 (16ページ)	結線図 1 (48ページ)
		ド上の端子台	RS422/485 (2線式)	設定例 6 (18 ページ)	結線図 2 (53 ページ)
VS mini V7/	CIMR- V7□A□□□□	インバータ上の端子台	RS422/485 (4線式)	設定例 7 (20ページ)	結線図 1 (48ページ)
VS-606V7			RS422/485 (2線式)	設定例 8 (22ページ)	結線図 2 (53ページ)
Varianaad E7S	CIMR- F7SDDDD	インバータ上の端子台	RS422/485 (4線式)	設定例 9 (24 ページ)	結線図 1 (48ページ)
valispeed F73			RS422/485 (2線式)	設定例 10 (26ページ)	結線図 2 (53ページ)
Varispood I 7	CIMR-		RS422/485 (4線式)	設定例 11 (28ページ)	結線図 1 (48ページ)
vanspeed L7	L7B000	インバータ上の姉子音	RS422/485 (2線式)	設定例 12 (30ページ)	結線図 2 (53ページ)
Varispeed AC	CIMR-	インバークトの出てム	RS422/485 (4線式)	設定例 13 (32ページ)	結線図 1 (48ページ)
vanspeed AC	ACADDDD		RS422/485 (2線式)	設定例 14 (34 ページ)	結線図 2 (53ページ)
V1000	CIMR- VA□A□□□□	インバータ上の端子台	RS422/485 (4線式)	設定例 15 (36ページ)	結線図 1 (48ページ)
			RS422/485 (2線式)	設定例 16 (38ページ)	結線図 2 (53ページ)
14000	CIMR- JADADDDD	SI-485/J RS-422/485 イ	RS422/485 (4線式)	設定例 17 (40ページ)	結線図 1 (48ページ)
01000		レッーフェイスカート 上の端子台	RS422/485 (2線式)	設定例 18 (42 ページ)	結線図 2 (53ページ)

1 インバータの型式の口は最大適用モータ容量などによって異なります。

## 接続構成

1:1 接続



1:n 接続



IPC の COM ポートについて

接続機器と IPC を接続する場合、使用できる COM ポートはシリーズと通信方式によって異なります。 詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

使用可能ポート

211 - 7	使用可能ポート			
99-X	RS-232C	RS-422/485(4 線式 )	RS-422/485(2 線式 )	
PS-2000B	COM1 <sup>1</sup> , COM2, COM3 <sup>1</sup> , COM4	-	-	
PS-3450A、PS-3451A、 PS3000-BA、PS3001-BD	COM1、COM2 <sup>1</sup> <sup>2</sup>	COM2 <sup>1</sup> <sup>2</sup>	COM2 <sup>1</sup> <sup>2</sup>	
PS-3650A、PS-3651A	COM1 <sup>1</sup>	-	-	
PS-3700A (Pentium®4-M) PS-3710A	COM1 <sup>1</sup> COM2 <sup>1</sup> COM3 <sup>2</sup> COM4	COM3 <sup>2</sup>	COM3 <sup>2</sup>	
PS-3711A	COM1 <sup>1</sup> , COM2 <sup>2</sup>	COM2 <sup>2</sup>	COM2 <sup>2</sup>	
PL-3000B、PL-3600T、 PL-3600K、PL-3700T、 PL-3700K、PL-3900T	COM1 <sup>1</sup> <sup>2</sup> , COM2 <sup>1</sup> , COM3, COM4	COM1 <sup>1</sup> <sup>2</sup>	COM1 <sup>1</sup> <sup>2</sup>	

1 RI/5V を切替えることができます。IPC の切替えスイッチで切替えてください。

2 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。使用する通信方式に合わせて、 以下のように設定してください。

ディップスイッチの設定:RS-232C

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF <sup>1</sup>	予約(常時 OFF)	
2	OFF	·通信支式・BS 222C	
3	OFF	返旧7月14 · K3-232C	
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない	
8	OFF	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:しない	
9	OFF	- RS(RTS) 自動制御モード:無効	
10	OFF		

1 PS-3450A、PS-3451A、PS3000-BA、PS3001-BD を使用する場合のみ設定値を ON にする 必要があります。 ディップスイッチの設定:RS-422/485(4線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON	通信士士・BS 400/495	
3	ON	地后刀式, KS-422/483	
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない	
8	OFF	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:しない	
9	OFF	- RS(RTS) 自動制御モード:無効	
10	OFF		

ディップスイッチの設定:RS-422/485(2線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON	· 通信士士・BS 400/495	
3	ON	地后刀式. KS-422/483	
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	ON	SDA(TXA)とRDA(RXA)の短絡:する	
8	ON	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:する	
9	ON	DS/DTS) 白動制御工 ピ・右効	
10	ON	- KS(K15) 日動前御て一下、 有効	

# 2 接続機器の選択

表示器と接続する接続機器を選択します。

💣 ブロジェクトファイルの新規作成	×
GP-Pro	接続機器
	メーカー (株)安川電機
	シリーズ インバータSIO
	「システムエリアを使用する この接続機器のマニュアルを見る」
	ポート COM1 💌
Ē	3 (B) 通信設定 <u>ロジック画面作成</u> ベース画面作成 キャンセル

設定項目	設定内容		
メーカー	接続する接続機器のメーカーを選択します。「(株)安川電機」を選択します。		
シリーズ	接続する接続機器の機種(シリーズ)と接続方法を選択します。「インバータ SIO」 を選択します。 「インバータ SIO」で接続できる接続機器はシステム構成で確認してください。 <sup>CGP</sup> 「1 システム構成」(3ページ)		
システムエリアを 使用する	本ドライバでは使用できません。		
ポート	接続機器と接続する表示器のポートを選択します。		

## 3 通信設定例

(株)デジタルが推奨する表示器と接続機器の通信設定例を示します。

### 3.1 設定例1

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

144/44/800-2					
接続機器1					
概要		自己的问题,我们就是这些问题,我们就是这些问题,我们就是我们的问题,我们就是我们的问题,我们就是我们的问题,我们就是我们的问题,我们就是我们的问题,我们就是我们的 第二章			
メーカー (株)安川電	機	シリーズ インバータSIO ポート COM1			
文字列データモード	1 変更				
通信設定					
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) · ● RS422/485(4線式)			
通信速度	9600	<b>•</b>			
データ長	O 7	• 8			
パリティ	○ なし	<ul> <li>● 偶数</li> <li>○ 奇数</li> </ul>			
ストップビット	● 1	C 2			
フロー制御	● なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF			
タイムアウト	3 🕂 (	sec)			
リトライ	2 :				
送信ウェイト	10 🔅 (	ms)			
RI / VCC	© RI	C VCC			
RS232Cの場合、9 にするかち 2842の参	番ピンをRI(入力)に	:するかVCC5V電源供給)			
トを使用する場合(	よ、VCCを選択して	スポント・シューションユニック			
	î 📑				
No. 機器名		設定			
M PLOT		In John Alevanispeed Fright Phylopethyla			

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から **1**をクリックすることで、 接続機器を増やすことができます。

💰 個別機器設定		×
PLC1		
シリーズ	Varispee	d F7 💌
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してく	含は、すでに だざい。	こ使用されている
スレーブアドレス(DEC)	1	
		初期設定
01	( <u>0</u> )	キャンセル

接続機器の設定

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの MENU キー、DATA/ENTER キー、アップキー、 ダウンキーまたは Shift/RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 MENU キーを押して [アドバンスプログラム]を選択します。

2 DATA/ENTER キーを押します。

3 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

- 4 DATA/ENTER キーを押します。
- 5 アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
H5-01	01	スレープアドレス (HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	伝送エラー検出選択
H5-06	5	送信待ち時間
H5-07	1	RTS 制御あり / なし

6 DATA/ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

## 3.2 設定例 2

GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	接続機器1				
概要	Ę		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
	メーカー (株)安川電	樔	シリーズ インバータSIO ポート COM1		
	文字列データモード	1 変更			
通信	設定				
	通信方式	C RS232C	◎ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)		
	通信速度	9600	▼.		
	データ長	C 7	• 8		
	パリティ	○ なし	<ul> <li>偶数</li> <li>〇 奇数</li> </ul>		
	ストップビット	● 1	C 2		
	フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF		
	タイムアウト	3 🔆 (	(sec)		
	リトライ	2 :			
	送信ウェイト	10 🔅 (	(ms)		
Γ	RI / VCC	© RI	C VCG		
	RS232Cの場合、94	番ピンをRI(入力)に	こするか VCC (5 V電源供給)		
にするがを選択できます。テンダル製品は23とリインレーションエニットを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期設定					
	接続可能台数 16台 16台				
	No. 機器名				
	.  rtoi				

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬 をクリックすることで、 接続機器を増やすことができます。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	Varispeed F7
シリースを変更した場合 アドレスを再確認してく)	合は、すぐに使用されている ださい。
スレーブアドレス(DEC)	1
	初期設定
Ok	((Q) キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの MENU キー、DATA/ENTER キー、アップキー、 ダウンキーまたは Shift/RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 MENU キーを押して [アドバンスプログラム]を選択します。

2 DATA/ENTER キーを押します。

3 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 DATA/ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
H5-01	01	スレーブアドレス (HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	伝送エラー検出選択
H5-06	5	送信待ち時間
H5-07	1	RTS 制御あり / なし

6 DATA/ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

## 3.3 設定例 3

GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
メーカー (株)安川電機	シリーズ インバータSIO ポート COM1			
文字列データモード ㅣ 🕱	E			
通信設定				
通信方式 C RS2	20 ORS422/485(2線式) ORS422/485(4線式)			
通信速度 9600	<b>•</b>			
データ長 〇 7	• 8			
パリティ 🔿 なし	○ 偶数 ○ 奇数			
ストップビット 💿 1	C 2			
フロー制御 💿 なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF			
タイムアウト 3	tec)			
リト <del>ラ</del> イ 2				
送信ウェイト 10	(ms)			
RI/VCC CRI	C VCC			
RS232Cの場合、9番ピンをRI	入力)にするかVCC(5V電源供給)			
トを使用する場合は、VCCを	がしまれるとなどがインジーションエニッ 選択してください。 初期服役定			
機器別設定				
接続可能台数 16台 📷				
No. 機器名	設定 トリーズ=Varispeed G7スレーブアドレス(DEC)=1			

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の maccelence ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬 をクリックすることで、 接続機器を増やすことができます。

💕 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	Varispeed G7
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してく	さは、すでに使用されている だざい。
スレーブアドレス(DEC)	1
	初期設定
Ok	((()) キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの MENU キー、DATA/ENTER キー、アップキー、 ダウンキーまたは Shift/RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 MENU キーを押して [アドバンスプログラム]を選択します。

2 DATA/ENTER キーを押します。

3 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 DATA/ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
H5-01	01	スレーブアドレス (HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	伝送エラー検出選択
H5-06	5	送信待ち時間
H5-07	1	RTS 制御あり / なし

6 DATA/ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

## 3.4 設定例 4

GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要		接続機器変更		
メーカー (株)安川電機	シリーズ インバータS	IO ポート/COM1		
文字列データモード 🚺 🧝	更 更			
通信設定				
通信方式 C RS2	32C ④ RS422/485(2線式)	C RS422/485(4線式)		
通信速度 9600	<b>T</b>			
データ長 〇 7	• 8			
パリティ 🔿 なし	● 偶数	奇数		
ストップビット 💿 1	C 2			
フロー制御 🔍 なし	C ER(DTR/CTS) C	(ON/XOFF		
タイムアウト 3	🕂 (sec)			
リトライ 2				
送信ウェイト 10	: (ms)			
RI/VCC © RI	C VCC			
RS232Cの場合、9番ピンをR	[(入力)にするかVCC(5V電源供給) かい制用S222Cアイバルージャンコニッ			
トを使用する場合は、VCCを	選択してください。	初期設定		
機器別設定				
接続可能台数 16台 📷	=			
No. 機器名 又 1 PLC1	設定 シリーズ=Varispe	ed G7.スレーブアドレス(DEC)=1		
<u>,</u>	POLL ( PARTY			

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の mm([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬をクリックすることで、 接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定		×
PLC1		
シリーズ	Varispee	d G7 💽
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してく	きは、すでに だざい。	:使用されている
スレーブアドレス(DEC)	1	=
		初期設定
0	( <u>0</u> )	キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの MENU キー、DATA/ENTER キー、アップキー、 ダウンキーまたは Shift/RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 MENU キーを押して [アドバンスプログラム]を選択します。

2 DATA/ENTER キーを押します。

3 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 DATA/ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
H5-01	01	スレーブアドレス (HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	伝送エラー検出選択
H5-06	5	送信待ち時間
H5-07	1	RTS 制御あり / なし

6 DATA/ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

## 3.5 設定例 5

GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー (株)安川電機		シリーズ インバータSIO		ポート СОМ1
文字列データモード   1	<u>変更</u>			
通信設定				
通信方式 〇	RS232C C F	RS422/485(2線式) 💽	RS422/485(4線式)	
通信速度 960	00	•		
データ長 〇	7 📀 8			
パリティ 〇 0	なし 🔍 🔴 🕼	戦 の 奇数	汝	
ストップビット 💿	1 0 2			
フロー制御 💿 :	なし 🔿 E	R(DTR/CTS) C XO	N/XOFF	
タイムアウト 3	: (sec)			
リトライ 2				
送信ウェイト 10	: (ms)			
RI / VCC 💿	RI C V	/00		
RS232Cの場合、9番ビン	/をRI(入力)にするか	VCC(5V電源供給)		
トを使用する場合は、VC	) りめかい ここここ ここここ ここここ ここここ ここここ こここ ひを 選択してください	0 0	初期設定	
接続可能台数 16台 📷		- 1 - + -		
No. 機器名		設定 「「」「シリーズ=VS mini J	7.スレーブアドレス(DEC)=1	
<b></b> ,				

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の maccelence ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 📷 をクリックすることで、 接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してく	VS mini J7 ▼ さは、すでに使用されている ださい。
スレーブアドレス(DEC)	1
	初期設定
0	(( <u>0</u> ) キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの DSPL キー、DATA/ENTER キー、アップキーまたはダウンキーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 DSPL キーを押して [PRGM]を選択します。
- 2 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。
- 3 DATA/ENTER キーを押します。
- 4 アップキーまたはダウンキーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
n02	2	運転指令選択
n03	6	周波数指令選択
n70	1	スレーブアドレス (DEC)
n71	2	ボーレート選択
n72	0	パリティ選択
n73	10	送信待ち時間
n74	0	RTS 制御

- 5 DATA/ENTER キーを押します。
- 6 接続機器を再起動します。

## 3.6 設定例 6

GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1					
概	更			接続機器変更		
	メーカー (株)安川電	樔	シリーズ インバータSIO	ポート <mark>COM1</mark>		
	文字列データモード	1 変更				
通	言設定					
	通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式)   ○ RS422/485(4線式)			
	通信速度	9600	<b>•</b>			
	データ長	C 7	• 8			
	パリティ	○ なし	<ul> <li>・ 偶数</li> <li>○ 奇数</li> </ul>			
	ストップビット	€ 1	O 2			
	フロー制御	● なし	O ER(DTR/CTS) O XON/XOFF			
	タイムアウト	3 🔆 (s	sec)			
	リトライ	2 🔅				
	送信ウェイト	10 🕂 (r	ms)			
[	RI / VCC	🖲 RI	C VOC			
	RS232Cの場合、9# にするかを選択でき	野ピンをRI(入力)に ます。デジタル製RS	するかVCC(5V電源供給) 5232Cアイソレーションユニッ			
機						
	後統可能合数 16合 1100 10合 1100 10分 10分 10分 10分 10分 10分 10分 10分 10					
	👗 1 PLC1		□□□ ジリーズ=VS mini J7.スレーブアドレス(DEC)=1			

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬 をクリックすることで、 接続機器を増やすことができます。

💰 個別機器設定		×
PLC1		
シリーズ	VS mini .	71
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してく	合は、すでに だざい。	使用されている
スレーブアドレス(DEC)	1	
		初期設定
0	K@	キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの DSPL キー、DATA/ENTER キー、アップキーまたはダウンキーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 DSPL キーを押して [PRGM]を選択します。
- 2 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。
- 3 DATA/ENTER キーを押します。
- 4 アップキーまたはダウンキーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
n02	2	運転指令選択
n03	6	周波数指令選択
n70	1	スレーブアドレス (DEC)
n71	2	ボーレート選択
n72	0	パリティ選択
n73	10	送信待ち時間
n74	0	RTS 制御

- 5 DATA/ENTER キーを押します。
- 6 接続機器を再起動します。

## 3.7 設定例 7

GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1				
概	更		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
	メーカー (株)安川電	機	シリーズ インバータSIO ポート COM1		
	文字列データモード	1 変更			
通	詞定				
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)		
	通信速度	9600	<b>•</b>		
	データ長	C 7	• 8		
	パリティ	○ なし	○ 偶数 ○ 奇数		
	ストップビット	€ 1	C 2		
	フロー制御	● なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF		
	タイムアウト	3 🕂 (	sec)		
	リトライ	2 :			
	送信ウェイト	10 🔆 (1	ms)		
[	RI / VCC	© RI	C VCC		
	RS2320の場合、9番ピンをRI(人力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを避免できます。デジカル(約RS2320アインルーションユニッ				
ドを使用する場合は、Vooを選択してください。 初期設定					
·····································					
	接続可能台数 16台 📊				
	No. 機器名		設定 トレーズ=VS mini V7/VS-606V7.スレーブアドレス(DEC)=1		

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の maccelence ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬 をクリックすることで、 接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定		×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更した場 アドレスを再確認してく	VS mini 合は、すで( ださい。	V7/VS-606V7 <mark>▼</mark> こ使用されている
スレーブアドレス(DEC)	1	
		初期設定
0	K( <u>O</u> )	キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの DSPL キー、DATA/ENTER キー、アップキーまたはダウンキーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 DSPL キーを押して [PRGM]を選択します。
- 2 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。
- 3 DATA/ENTER キーを押します。
- 4 アップキーまたはダウンキーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
n03	2	運転指令選択
n04	6	周波数指令選択
n153	1	スレーブアドレス (DEC)
n154	2	ボーレート選択
n155	0	パリティ選択
n156	10	送信待ち時間
n157	0	RTS 制御

- 5 DATA/ENTER キーを押します。
- 6 接続機器を再起動します。

## 3.8 設定例 8

GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1					
概要	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
メーカー (株)安川電機	シリーズ インバータSIO ポート COM1				
文字列データモード 1 変更					
通信設定					
通信方式 C RS232C	● RS422/485(2線式)				
通信速度 9600					
データ長 〇 7	• 8				
パリティ 🔿 なし	<ul> <li>● 偶数</li> <li>○ 奇数</li> </ul>				
ストップビット 💿 1	C 2				
フロー制御 🔍 なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF				
タイムアウト 3	E (sec)				
リトライ 2 :					
送信ウェイト 10 💡					
RI / VCC @ RI	C VCC				
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入 にするかを選択できます。デジタル	力)にするかVCC6V電源供給) 型RS22Cアイソレーションコニッ				
下を使用する場合は、VCCを選択	してください。 初期間没定				
·····································					
接続可能台数 16台 📊	10				
1 PLC1	====================================				

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の maccelence ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬をクリックすることで、 接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定		×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更した場合	│VS mini V7/V 会は、すでに使用	S-606V7 💌 きれている
アトレスを再確認して、 スレーブアドレス(DEC)	1	
		初期設定
0	( <u>0)</u> *	キンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの DSPL キー、DATA/ENTER キー、アップキーまたはダウンキーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 DSPL キーを押して [PRGM]を選択します。
- 2 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。
- 3 DATA/ENTER キーを押します。
- 4 アップキーまたはダウンキーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
n03	2	運転指令選択
n04	6	周波数指令選択
n153	1	スレーブアドレス (DEC)
n154	2	ボーレート選択
n155	0	パリティ選択
n156	10	送信待ち時間
n157	0	RTS 制御

- 5 DATA/ENTER キーを押します。
- 6 接続機器を再起動します。

## 3.9 設定例 9

GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器	[2] [2] [2] [2] [2] [2] [2] [2] [2] [2]				
概要			接続機器変更		
-×	ーカー (株)安川電橋	<u>ال</u>	シリーズ インバータSIO ポート COM1		
文	字列データモード	1 <u>変更</u>			
通信設	定				
通	信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)		
通	信速度	9600	<b>•</b>		
デ	一久長	C 7	• 8		
18.	リティ	○ なし	○ 偶数 ○ 奇数		
지	トップビット	€ 1	C 2		
70	口一制御	● なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF		
タ1	イムアウト	3 : 6	sec)		
ባት	·∋1	2 :			
送	信ウェイト	10 🔆 (	ms)		
RI	: / VCC	🖲 RI	C VCC		
F	RS232Cの場合、9番 こするかを選択できま トを使用する場合は	ピンをRI(入力)に ます。デジタル製RI 、VCCを選択して	こするかVOCのV軍源供給) S232Cアイソレーションユニッ ください。		
機 協制					
130	No. 機器名				
ă	1 PLC1		Imp ジリーズ=Varispeed F7Sスレーブアドレス(DEC)=1		

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の maccelence ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬をクリックすることで、 接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定		×
PLC1		
シリーズ	Varispeed F7S	•
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してく	さは、すでに使用 だざい。	されている
スレーブアドレス(DEC)	1	
		初期設定
01	( <u>0</u> ) *	ャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの MENU キー、DATA/ENTER キー、アップキー、 ダウンキーまたは Shift/RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 MENU キーを押して [アドバンスプログラム]を選択します。

2 DATA/ENTER キーを押します。

3 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 DATA/ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
H5-01	01	スレーブアドレス (HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	伝送エラー検出選択
H5-06	5	送信待ち時間
H5-07	1	RTS 制御あり / なし

6 DATA/ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

## 3.10 設定例 10

GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1		
概	<b></b>		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	メーカー (株)安川電	機	シリーズ インバータSIO ポート COM1
	文字列データモード	1 変更	
通	詞定		
	通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式)
	通信速度	9600	<b>•</b>
	データ長	C 7	• 8
	パリティ	○ なし	● 偶数 ○ 奇数
	ストップビット	€ 1	C 2
	フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
	タイムアウト	3 🗄 6	sec)
	リトライ	2 :	
	送信ウェイト	10 🔅 (	ms)
[	RI / VCC	© RI	C VCC
	RS232Cの場合、9i にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル観R	するかVCC(5V電源供給) 5232Cアイバルージョンフェッ
	下を使用する場合に	t、VCCを選択して	ください。 初期設定
機	問題定		
	接続可能台数 16台		= 7,00
	NO. 1機器名		apxを アリーズ=Varispeed F7S,スレーブアドレス(DEC)=1
	· · · ·		

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の mm([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬 をクリックすることで、 接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくれ	Varispeed F7S  td、すでに使用されている  ださい。
スレーブアドレス(DEC)	1
	初期設定
OK	(1) キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの MENU キー、DATA/ENTER キー、アップキー、 ダウンキーまたは Shift/RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 MENU キーを押して [アドバンスプログラム]を選択します。

2 DATA/ENTER キーを押します。

3 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 DATA/ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
H5-01	01	スレープアドレス (HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	伝送エラー検出選択
H5-06	5	送信待ち時間
H5-07	1	RTS 制御あり / なし

6 DATA/ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

## 3.11 設定例 11

GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1		
概	更		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	メーカー (株)安川電	機	シリーズ インバータSIO ポート COM1
	文字列データモード	1 変更	
通	i設定		
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)
	通信速度	9600	<b>_</b>
	データ長	C 7	• 8
	パリティ	○ なし	<ul> <li>● 偶数</li> <li>○ 奇数</li> </ul>
	ストップビット	€ 1	C 2
	フロー制御	⊙ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
	タイムアウト	3 🗄 🤅	sec)
	リトライ	2 :	
	送信ウェイト	10 🗄 (	ms)
[	RI / VCC	© RI	C VCC
	RS232Cの場合、9i にするかを選択でき	野ピンをRI(入力)に ます。デジタル制度	するかVOC(5V電源供給) 52200アイバルージョンフェッ
	トを使用する場合は	L. VOCを選択して	べださい。 初期設定
機	器別設定		
	接続可能台数 16台	1	
	No. 機器名		設定 「」「シリーズ=Varispeed L7.スレーブアドレス(DEC)=1
	<b>1</b> ,,		

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の mm([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬をクリックすることで、 接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定		×
PLC1		
シリーズ	Varispee	d L 7 💌
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してく	合は、すでは だざい。	使用されている
スレーブアドレス(DEC)	1	
		初期設定
01	( <u>0</u> )	キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの MENU キー、DATA/ENTER キー、アップキー、 ダウンキーまたは Shift/RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 MENU キーを押して [アドバンスプログラム]を選択します。

2 DATA/ENTER キーを押します。

3 アップキーまたはダウンキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 DATA/ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
H5-01	01	ステーションアドレス (HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	伝送エラー検出選択
H5-06	5	送信待時間
H5-07	1	RTS 制御有 / 無

6 DATA/ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

## 3.12 設定例 12

GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1		
概	更		<u>接続機器変更</u>
	メーカー (株)安川電	機	シリーズ インバータSIO ポート COM1
	文字列データモード	1 変更	
通	調定		
	通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)
	通信速度	9600	<b>•</b>
	データ長	C 7	• 8
	パリティ	○ なし	<ul> <li>● 偶数</li> <li>○ 奇数</li> </ul>
	ストップビット	1     1	O 2
	フロー制御	● なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
	タイムアウト	3 🕂 (	(sec)
	リトライ	2 :	
	送信ウェイト	10 🔅 (	ims)
[	RI / VCC	© RI	O VCC
	RS232Cの場合、9i	番ピンをRI(入力)に ます。 デジタル 制度	c するか VCC (5 V電源供給)
	トを使用する場合に	より。アンダル裂れ に、VCCを選択して	32320アイクレージョンユニック 「ださい。 初期設定
機			
	接続可能台数 16台		
	No. 機器名		設定 トレーズ=Varispeed 17スレーブアドレス(DEC)=1

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の mm([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬をクリックすることで、 接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	Varispeed L7
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してく	合は、すでに使用されている ださい。
スレーブアドレス(DEC)	1
	初期設定
0	K( <u>0</u> ) キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの MENU キー、DATA/ENTER キー、アップキー、 ダウンキーまたは Shift/RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 MENU キーを押して [アドバンスプログラム]を選択します。

2 DATA/ENTER キーを押します。

3 アップキーまたはダウンキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 DATA/ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
H5-01	01	ステーションアドレス (HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	伝送エラー検出選択
H5-06	5	送信待時間
H5-07	1	RTS 制御有 / 無

6 DATA/ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

## 3.13 設定例 13

GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1					
概要	<b></b> 里		接続機器変更		
	メーカー (株)安川電	機	シリーズ インバータSIO ポート COM1		
	文字列データモード	1 変更			
通信	詞定				
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)		
	通信速度	9600	•		
	データ長	O 7	• 8		
	パリティ	○ なし	<ul> <li>● 偶数</li> <li>○ 奇数</li> </ul>		
	ストップビット	● 1	O 2		
	フロー制御	⊙ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF		
	タイムアウト	3 🔆 (	(sec)		
	リトライ	2 :			
	送信ウェイト	10 🕂 (	(ms)		
	RI / VCC	© RI	C VCC		
	RS232Cの場合、9: にオスかち避視でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル制度	こするかVCC(5V電源供給)		
	トを使用する場合()	より。フラジル裏に た、VCCを選択して	これたちい。 初期設定		
·····································					
	接続可能台数 16台 📊				
	No. 機器名		設定 「」「シリーズ=Varispeed ACスレーブアドレス(DEC)=1		

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の Interaction ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬をクリックすることで、 接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定		×
PLC1		
シリーズ	Varispee	d AC 💌
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してく	きは、すでに だざい。	:使用されている
スレーブアドレス(DEC)	1	=
		初期設定
Oł	( <u>0</u> )	キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの MENU キー、DATA/ENTER キー、アップキー、 ダウンキーまたは Shift/RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 MENU キーを押して [アドバンスプログラム]を選択します。

2 DATA/ENTER キーを押します。

3 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 DATA/ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
H5-01	01	スレーブアドレス (HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	伝送エラー検出選択
H5-06	5	送信待ち時間
H5-07	1	RTS 制御あり / なし

6 DATA/ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

## 3.14 設定例 14

GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1				
概	Ę		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
	メーカー (株)安川電	機	シリーズ インバータSIO ポート COM1		
	文字列データモード	1 変更			
通	言設定				
	通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)		
	通信速度	9600	<b>_</b>		
	データ長	C 7	• 8		
	パリティ	○ なし	<ul> <li>● 偶数</li> <li>○ 奇数</li> </ul>		
	ストップビット	€ 1	C 2		
	フロー制御	● なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF		
	タイムアウト	3 🗄 🤅	sec)		
	リトライ	2 🔅			
	送信ウェイト	10 🕂 (	ms)		
[	RI / VCC	© RI	C VCC		
	RS232Cの場合、9i	番ピンをRI(入力)に ます。デジカル制度	するかVCC(5V電源供給)		
	トを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期設定				
·····································					
	接続可能台数 16台				
	No. 機器名		設定 「リーズ=Varispeed ACスレーブアドレス(DEC)=1		
	<b>1</b>				

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の mm([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬をクリックすることで、 接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	Varispeed AC
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してく	とは、すでに使用されている だざい。
スレーブアドレス(DEC)	1 🗄
	初期設定
Ok	((()) キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの MENU キー、DATA/ENTER キー、アップキー、 ダウンキーまたは Shift/RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 MENU キーを押して [アドバンスプログラム]を選択します。

2 DATA/ENTER キーを押します。

3 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 DATA/ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
H5-01	01	スレーブアドレス (HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	伝送エラー検出選択
H5-06	5	送信待ち時間
H5-07	1	RTS 制御あり / なし

6 DATA/ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

## 3.15 設定例 15

GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1		
概要	Ē		接続機器変更
	メーカー (株)安川電	雘	シリーズ インバー友SIO ポート COM1
	文字列データモード	1 変更	
通信	設定		
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式)
	通信速度	9600	<b>•</b>
	データ長	O 7	• 8
	パリティ	○ なし	<ul> <li>● 偶数</li> <li>○ 奇数</li> </ul>
	ストップビット	● 1	C 2
	フロー制御	⊙ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
	タイムアウト	3 🔅 (	(sec)
	リトライ	2 :	
	送信ウェイト	10 🔅 (	(ms)
Γ	RI / VCC	© RI	O VCC
	RS232Cの場合、9種 にするかを避けでき	番ピンをRI(入力)に ます。デジカル制度	とするかVCC(5)/電源供給)
	トを使用する場合は	、VCCを選択して	こください。 初期設定
機器			
	接続可能台数 16台	1	
	No. 機器名		設定 「「」「シリーズ=V1000スレーブアドレス(DEC)=1

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の mm([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬をクリックすることで、 接続機器を増やすことができます。

於個別機器設定 ×
PLC1
シリーズ V1000 ▼
シリーズを変更した場合は、すでに使用されている アドレスを再確認してくだざい。
スレーブアドレス(DEC) 1 🗦
初期設定
OK(Q) キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの ENTER キー、アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 アップキーを押して [STUP]を表示します。

2 ENTER キーを押します。

3 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
b1-01	2	周波数指令選択1
b1-02	2	運転指令選択1
H5-01	01	ステーションアドレス (HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	CE 検出選択
H5-06	5	送信待ち時間
H5-07	1	RTS 制御あり / なし
H5-09	2.0	CE 検出時間

6 ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

## 3.16 設定例 16

GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1		
概	更		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	メーカー (株)安川電	機	シリーズ インバータSIO ポート COM1
	文字列データモード	1 変更	
通	調定		
	通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式)
	通信速度	9600	<b>▼</b>
	データ長	C 7	• 8
	パリティ	○ なし	<ul> <li>● 偶数</li> <li>○ 奇数</li> </ul>
	ストップビット	I	O 2
	フロー制御	⊙ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
	タイムアウト	3 🔆 (	(sec)
	リトライ	2 :	
	送信ウェイト	10 🕂 (	(ms)
[	RI / VCC	C RI	C VCC
	RS232Cの場合、9i にするかち選択でき	野ピンをRI(入力)に ます。デジカル制度	とするかVCC(5V電源供給)
	トを使用する場合は	t, VCCを選択して	にたさい。初期設定
機	器別設定		
	接続可能台数 16台		
	No. 機器名		設定 トーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の mm([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬をクリックすることで、 接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定		×
PLC1		
シリーズ	V1000	•
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してく	きは、すでに だざい。	使用されている
スレーブアドレス(DEC)	1	<u>.</u>
		初期設定
0	<u>(</u>	キャンセル

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの ENTER キー、アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 アップキーを押して [STUP]を表示します。

2 ENTER キーを押します。

3 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは Shift/RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
b1-01	2	周波数指令選択1
b1-02	2	運転指令選択1
H5-01	01	ステーションアドレス (HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	CE 検出選択
H5-06	5	送信待ち時間
H5-07	1	RTS 制御あり / なし
H5-09	2.0	CE 検出時間

6 ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

## 3.17 設定例 17

GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機	機器1		
概要			接続機器変更
	メーカー (株)安川電橋	<del>ال</del> ا	シリーズ インバータSIO ポート COM1
	文字列データモード	1 <u>変更</u>	
通信	設定		
:	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)
:	通信速度	9600	<b>_</b>
	データ長	O 7	• 8
	パリティ	○ なし	○ 偶数 ○ 奇数
	ストップビット	● 1	C 2
	フロー制御	● なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
	タイムアウト	3 🔅 🤅	sec)
1	リトライ	2 :	
;	送信ウェイト	10 : (	ms)
	RI / VCC	© RI	C VCC
	RS232Cの場合、9番 にするかを選択でき	ませンをRI(入力)に ます。デジタル制度	.するかVCC(5V電源供給) \$2220アイバルージョンフェッ
	トを使用する場合は	、VOCを選択して	べださい。 初期設定
機器	別設定		
:	接続可能台数 16台	1	
[	No. 機器名		設定 「」「シリーズ=J1000.スレーブアドレス(DEC)=1
l			

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の mm([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬をクリックすることで、 接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	J1000 👤
アドレスを再確認してくな	čh.
スレーブアドレス(DEC)	1 🗄
OK	0) ++>U

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの ENTER キー、アップキー、ダウンキーまたは RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 アップキーを押して [STUP]を表示します。

2 ENTER キーを押します。

3 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容
b1-01	2	周波数指令選択
b1-02	2	運転指令選択
H5-01	01	ステーションアドレス (HEX)
H5-02	3	伝送速度の選択
H5-03	1	伝送パリティの選択
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択
H5-05	1	CE 検出選択
H5-06	5	送信待ち時間
H5-07	1	RTS 制御あり / なし

6 ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

## 3.18 設定例 18

GP-Pro EX の設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1					
概要	Ē			接続機器変更	
	メーカー (株)安川電橋	<u>بر</u>	シリーズ インバータSIO	ポート COM1	
	文字列データモード	1 <u>変更</u>			
通信	設定				
	通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式)		
	通信速度	9600	<b>•</b>		
	データ長	C 7	• 8		
	パリティ	○ なし	<ul> <li>・ 偶数</li> <li>● 6数</li> </ul>		
	ストップビット	● 1	© 2		
	フロー制御	● なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF		
	タイムアウト	3 : (s	ec)		
	リトライ	2 :			
	送信ウェイト	10 🔅 (r	ns)		
Γ	RI / VCC	© RI	C VCC		
	RS232Cの場合、9番 にするかを選択できま トを使用する場合は	キピンをRI(入力)に ます。デジタル製RS 、VCCを選択して	するかVCC伝V電源供給) 32320アイソレーションユニッ パださい。 初期設定		
機器別設定					
	接続可能台数 16台	100	=lu-ch		
	No. 機器名		設定 []] [シリーズ=J1000.スレーブアドレス(DEC)=1		

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の mm([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬をクリックすることで、 接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	J1000 👤
アドレスを再確認してくな	čh.
スレーブアドレス(DEC)	1 🗄
OK	0) ++>U

通信設定はインバータ前面のデジタルオペレータの ENTER キー、アップキー、ダウンキーまたは RESET キーで行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 アップキーを押して [STUP]を表示します。

2 ENTER キーを押します。

3 アップキーを押して設定するパラメータを表示します。

4 ENTER キーを押します。

5 アップキー、ダウンキーまたは RESET キーを押して設定値を表示します。

パラメータ No.	設定値	設定内容	
b1-01	2	周波数指令選択	
b1-02	2	運転指令選択	
H5-01	01	ステーションアドレス (HEX)	
H5-02	3	伝送速度の選択	
H5-03	1	伝送パリティの選択	
H5-04	3	伝送エラー検出時の動作選択	
H5-05	1	CE 検出選択	
H5-06	5	送信待ち時間	
H5-07	1	RTS 制御あり / なし	

6 ENTER キーを押します。

7 接続機器を再起動します。

## 4 設定項目

表示器の通信設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードで設定します。 各項目の設定は接続機器の設定と一致させる必要があります。 <sup>☞</sup>「3通信設定例」(8ページ)

#### 4.1 GP-Pro EX での設定項目

#### 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー (株)安川電機		- シリーズ インバータ	SIO	ポート COM1
文字列データモード   1	- <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式 〇	RS2320 O (	RS422/485(2線式)	● RS422/485(4線式)	
通信速度 9	600	-		
データ長 〇	7 • (	3		
パリティ 🔿	なし 🔍	周数 〇	奇数	
ストップビット 💿	1 01	2		
フロー制御 💿	ಿಸರಿ ೧೯	er(dtr/cts) C	XON/XOFF	
タイムアウト 3	(sec)			
リトライ 2	-			
送信ウェイト 1	0 📑 (ms)			
RI / VCC 🤅	RI O	/00		
RS232Cの場合、9番ピ	ンをRI(入力)にするか	VCC(5V電源供給)		
トを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期設定				
·····································				
接続可能台数 16台 📷				
No. 機器名		設定 「」「シリーズ=Varist	peed F7.スレーブアドレス(DEC)=1	

設定項目	設定内容		
	接続機器と通信する通信方式を選択します。		
通信方式	通信設定を行う場合、「通信方式」は表示器のシリアルインターフェイスの仕様を確認し、正しく設定してください。 シリアルインターフェイスが対応していない通信方式を選択した場合の動作は保証できません。 シリアルインターフェイスの仕様については表示器のマニュアルを参照してください。		
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。		

次のページに続きます。

設定項目	設定内容		
データ長	データ長を表示します。		
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。		
ストップビット	ストップビット長を選択します。		
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を選択します。		
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1 ~ 127」で入力します。		
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~255」 で入力します。		
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間(ms)を「0~255」で入力します。		

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🏬 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬 をクリックすること で、接続機器を増やすことができます。

個別機器設定		×
PLC1		
シリーズ	Varispeed	i F7 💌
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してく?	きは、すでに だざい。	使用されている
スレーブアドレス(DEC)	1	=
		初期設定
Ok	( <u>)</u>	キャンセル

設定項目	設定内容	
シリーズ	接続機器のシリーズを選択します。	
スレーブアドレス	接続機器のスレープアドレスを「1 ~ 255 (DEC)」で入力します。	

4.2 オフラインモードでの設定項目

 MEMO
 ・ オフラインモードへの入り方や操作方法は、保守 / トラブル解決ガイドを参照して ください。
 参照:保守 / トラブル解決ガイド「2.2 オフラインモードについて」

通信設定

設定画面を表示するには、オフラインモードの[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチしま す。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチします。



設定項目	設定内容
	接続機器と通信する通信方式を選択します。
通信方式	重要 通信設定を行う場合、[通信方式]は表示器のシリアルインターフェイスの仕様 を確認し、正しく設定してください。 シリアルインターフェイスが対応していない通信方式を選択した場合の動作は保 証できません。 シリアルインターフェイスの仕様については表示器のマニュアルを参照してくだ さい。
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。
データ長	データ長を表示します。

次のページに続きます。

設定項目	設定内容		
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。		
ストップビット	ストップビット長を選択します。		
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式です。		
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1 ~ 127」で入力します。		
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~ 255」で入力します。		
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0~255」で入力します。		

#### 機器設定

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[機器設定]をタッチします。



設定項目	設定内容	
接続機器名	設定する接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の 名称です。(初期値 [ PLC1 ])	
シリーズ	接続機器のシリーズを表示します。	
スレーブアドレス	接続機器のスレーブアドレスを「1 ~ 255 (DEC)」で入力します。	

## 5 結線図

以下に示す結線図と(株)安川電機が推奨する結線図が異なる場合がありますが、本書に示す結線図 でも動作上問題ありません。

- 通信用配線は主回路配線および他の動力線や電力線と分離してください。
- 接続機器本体の FG 端子は D 種接地を行ってください。詳細は接続機器のマニュアルを参照して ください。
- 表示器内部で SG と FG は接続されています。接続機器と SG を接続する場合は短絡ループが形成 されないようにシステムを設計してください。
- ノイズなどの影響で通信が安定しない場合はアイソレーションユニットを接続してください。

結線図 1

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP <sup>1</sup> (COM1) AGP-3302B (COM2) ST <sup>2</sup> (COM2) LT (COM1) IPC <sup>3</sup>	А	<ul> <li>(株)デジタル製 COM ポート変換ア ダプタ CA3-ADPCOM-01</li></ul>	
	В	自作ケーブル	
GP <sup>1</sup> (COM2)	С	<ul> <li>(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01</li> <li>+</li> <li>(株)デジタル製 コネクタ端子台変換 アダプタ</li> <li>CA3-ADPTRM-01</li> <li>+</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	ケーブル長:50m 以内
	D	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	

1 AGP-3302B を除く全 GP 機種

2 AST-3211A を除く全 ST 機種

A)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製 コネクタ端子 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



МЕМО

シールドのグランドは接続機器のグランド端子を使用してください。
終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

- B) 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO	• シールドのグランドは接続機器のグランド端子を使用してください。	
	• 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。	

 C)(株)デジタル製 オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)(株)デジタル製 コネクタ端子台変換 アダプタ(CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



МЕМО

シールドのグランドは接続機器のグランド端子を使用してください。
終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

D)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



自作ケーブル

1:n 接続の場合



MEMO	• シールドのグランドは接続機器のグランド端子を使用してください。
	• 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

#### 結線図 2

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP <sup>1</sup> ( COM1 ) AGP-3302B ( COM2 ) ST <sup>2</sup> ( COM2 ) LT (COM1)	А	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	
	В	自作ケーブル	
GP <sup>1</sup> ( COM2 )	С	(株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長 : 50m 以内
	D	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC <sup>3</sup>	Е	<ul> <li>(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01</li> <li>+</li> <li>(株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01</li> <li>+</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	
	F	目作ケーブル	

1 AGP-3302B を除く全 GP 機種

2 AST-3211A を除く全 ST 機種

3 RS-422/485(2 線式 ) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 『ア IPC の COM ポートについて (5ページ) A)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製 コネクタ端子 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



• 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

- B) 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



MEMO

シールドのグランドは接続機器のグランド端子を使用してください。
 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

 C)(株)デジタル製 オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)(株)デジタル製 コネクタ端子台変換 アダプタ(CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



мемо

シールドのグランドは接続機器のグランド端子を使用してください。
終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

D)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合

#### 1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO	• シールドのグランドは接続機器のグランド端子を使用してください。	
	• 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。	

E)(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製 コネクタ端子
 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



自作ケーブル

1:n 接続の場合



• 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

- F) 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO

シールドのグランドは接続機器のグランド端子を使用してください。
終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

# 6 使用可能デバイス

使用可能なデバイスアドレスの範囲を下表に示します。ただし、実際にサポートされるデバイスの範囲は接続機器によって異なりますので、ご使用の接続機器のマニュアルで確認してください。

**□** はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
ビットレジスタ <sup>1</sup>	BR0000.0 - BR1959.F		-	2
レジスタ 1		0000 - 1959	[L/H]	вit

1 ビットレジスタおよびレジスタは同じデバイスですが、ビット書込みの動作が異なります。必要に 応じて使い分けてください。

2 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読込み、読込んだ ワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読込んで返す 間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書込み処理を行うと、正しいデータが書込めない 場合があります。 書込み専用レジスタにビット書込みを行う場合は、レジスタデバイスを使用してください。書込み 専用レジスタに書込みを行うと、読出しコマンドで通信エラーが表示されます。

MEMO ・ デバイスを使用する場合は定数 No. に対応した MEMOBUS レジスタ番号をアドレスと して設定してください。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

例) インバータ定数 No. と MEMOBUS レジスタの対応

						制	御モー	۲	
定数 No.	名称	内容	設定 範囲	出荷 時設 定	運転 中の 変更	PG なし V/f	PG 付き V/f	PG なべ トル	MEMOBUS レジスタ
A1-02	制御モード の選択	インバータの制御モードを選択 0:PGなし V/f 制御 1:PG 付き V/f 制御 2:PG なしペクトル制御 イニシャライズでは初期化でき ません。	0 ~ 2	0	×	Q	Q	Q	102H
b1-01	周波数指令 の選択	周波数指令の入力方法を設定 0:デジタルオペレータ 1:制御回路端子(アナログ入力) 2:MEMOBUS 通信 3:オプションカード 4:パルス列入力	0 ~ 4	1	×	Q	Q	Q	180H

- 接続機器で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。読込みエリ アサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
- システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
- 参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4 LS エリア ( ダイレクトアクセス方 式専用 )」
- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

「塗」「表記のルール」

# 7 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードは、データ表示器などのアドレスタイプで「デバイスタイプ&アドレス」を設定している場合に使用します。

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード	
レジスタ	-	0000	ワードアドレス	

## 8 エラーメッセージ

エラーメッセージは表示器の画面上に「番号:機器名:エラーメッセージ(エラー発生箇所)」のように表示されます。それぞれの内容は以下のとおりです。

項目	内容
番号	エラー番号
機器名	エラーが発生した接続機器の名称。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器 の名称です。(初期値 [PLC1])
エラーメッセージ	発生したエラーに関するメッセージを表示します。
	エラーが発生した接続機器の IP アドレスやデバイスアドレス、接続機器から受 信したエラーコードを表示します。
エラー発生箇所	<ul> <li>MEMO</li> <li>受信エラーコードは「10 進数 [16 進数]」のように表示されます。</li> <li>デバイスアドレスは「アドレス:デバイスアドレス」のように表示されます。</li> <li>IP アドレスは「IP アドレス (10 進数):MAC アドレス (16 進数)」のように表示されます。</li> </ul>

エラーメッセージの表示例

「RHAA035:PLC1: 書込み要求でエラー応答を受信しました(受信エラーコード:1[01H])」

MEMO	• 受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。
	・ ドライバ共通のエラーメッセージについては「保守/トラブル解決ガイド」の「エ
	ラーが表示されたら ( エラーコード一覧 )」を参照してください。

接続機器特有のエラーコード

エラーコード	エラー内容
02H	レジスタ番号不良エラー
21H	データ設定エラー
22H	書込みモードエラー
23H	主回路低電圧(UV)中書込みエラー
24H	定数処理中の書込みエラー